

## 甲賀市の財政状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、令和4年度決算に基づく甲賀市の健全化判断比率及び資金不足比率を公表します。

### ■全項目で健全化基準をクリア！比率も改善！

健全化判断比率及び資金不足比率が一定の基準値を超えた場合、改善が必要な状態とみなされ、財政健全化計画を策定することなどが義務付けられます。

算定の結果、交付税措置の高い事業を選んで市債を借入していることや公営企業会計において借金の返済が進んだことにより、実質公債費比率は昨年度比で0.2ポ

イント改善し6.3%に、将来負担比率は公営企業等繰入見込額の減少等により、昨年度比で11.4ポイント改善し28.9%となりました。

自主的な改善努力が求められる早期健全化基準とは大きく差があり、依然として健全な状態を保っておりますが、今後も限られた財源を効果的に活用するとともに、一層の財政の健全化に向けた取組を進めていきます。

### ■健全化判断比率

財政状況を客観的に表し、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するためのもので、以下4つの財政指標を「健全化判断比率」と定めています。

(単位：%)

指標	令和4年度	令和3年度	早期健全化基準 【イエローカード】	財政再生基準 【レッドカード】
①実質赤字比率 (一般会計などの赤字の割合)	-	-	12.03	20.00
②連結実質赤字比率 (全会計の赤字の割合)	-	-	17.03	30.00
③実質公債費比率	6.3	6.5	25.0	35.0
④将来負担比率	28.9	40.3	350.0	-

◆実質赤字比率および連結実質赤字比率は実質赤字額がないため、「-」で表示しています。

◆実質公債費比率…財政規模に対して返済する借金が占める割合(比率が低いほど健全であるといえます。)

◆将来負担比率…財政規模に対して将来に負債が見込まれる負担の割合(比率が低いほど健全であるといえます。)

### ■資金不足比率

公営企業の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合を示すものです。

◆全ての公営企業会計(病院・水道・診療所・介護老人保健施設・下水道)で資金不足は生じていません。

## 決算審査報告

監査委員  
山本 哲雄  
山岡 光広

令和4年度甲賀市一般会計および各特別会計決算、基金の運用状況、公営企業会計決算ならびに財政健全化、経営健全化判断比率について、審査に付された各会計の決算書や附属書類等を審査したところ、いずれも関係法令に適合して作成されており、計数も正確で、適正に執行されているものと認めました。

一般会計・特別会計は黒字を維持し、公営企業会計も介護老人保健施設事業会計を除いて純利益を計上しています。

また、財政健全化判断比率と各企業会計の資金不足比率は良好な状態にあると認められます。

新型コロナウイルス感染症の収束が見られず不安が拭い去れない中、デジタル技術の活用で市民の暮らしの利便性を高めるなど「新しい豊かさ」によるまちづくりに取り組まれた一方、支援を要する場面ではきめ細かな策を



講じて、「いつもの暮らし」を守る取り組みも展開されました。今後においても、時代や社会の要請に応えながら、本市総合計画の実現をめざし、もって市民福祉の充実・向上が図れるよう取り組まれることを期待しています。

※8月18日付

市長へ決算審査報告

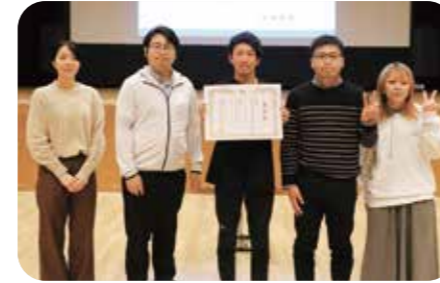


詳しくはこちら

問合せ 監査委員事務局 TEL 69-2261 FAX 63-4577

## 若者Uターン促進事業 394万円

市内の若者を対象として、政策アイデアを立案・発表するコンテストを実施するなど、若者が市政に関わる機会を増やすとともに、就学や就労により市外に転出した若者層のUターンのきっかけづくりに取り組みました。



## 六古窯日本遺産活用事業 717万円

「日本遺産六古窯サミット2022in信楽」を開催し、2025年大阪・関西万博開催を契機にやきもの文化の国内外の発信に取り組む「サミット宣言」を行ったほか、「六古窯市」や「六古窯展」等により、関係者だけでなく、外に開かれた催しとし、アフターコロナを見据えた観光誘客につなげました。



## 重層的支援体制整備事業 2,908万円

誰一人取り残さない地域共生社会の実現をめざして、制度福祉間の協働(庁内連携)と、地域福祉との協働(住民参加の応援)という2つの協働により、包括的な支援体制づくりをスタートしました。



令和4年度に実施した主な事業の詳細については、甲賀市ホームページ「甲賀市の決算」に掲載しています。

## 全国植樹祭整備事業 982万円

「第72回全国植樹祭」を通じて、本市の森林整備と林業振興に繋がるよう、オール甲賀で取組を進めました。また、サテライト会場として「忍の里プララ」で開催した「KOKAグリーンフェス」には約2,500人の参加があり、全国植樹祭を体感していただくとともに、森林保全や木材利用等への関心を広げました。



## カーボンニュートラル推進事業 984万円

環境未来都市の実現に向け、「甲賀市環境未来都市宣言」を行いました。また、市民、事業所の意識調査を実施するとともに、太陽光・小水力・バイオマス発電の導入可能性調査の候補地を選定しました。



市ホームページ

